

事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和3年2月10日

事業所名: 木の实教室

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	5	0	民家を改装してのスペースであるが、畳でなく、木の床板にし、子供用トイレに改装するなど配慮している。	現状では最大限の工夫をしているが、やはり親子教室でもあり、大人が多い環境では、狭さがあり、よりよい環境をもとめて移転先を探している。
	2	職員の配置数は適切であるか	5	0	法律では、児5人に1人の保育士が規定されているが、丁寧な保育を行うため3人体制で実施している。	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	5	0	ワンフロアであり、見通しも良く、子どもたちにもわかりやすい環境となっている。	民家を改装した保育室であるため、段差はどうしても解消できないので、踏み台を利用している。安全を配慮した保育が課題である。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	5	0	子供用トイレが個室ではないことから、プライバシー確保への配慮を心がけている。	現状では、これ以上の改装は考えられないので、適切で心地良い環境を保障できる園舎への移転を考えている。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	5	0	月に1回の職員会議において、全職員が参加して実施している。	保育や園運営に関しては、全ての職員が自分の意見を述べられるような雰囲気づくりをしたい。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	5	0	保護者による評価や意見の聴取は、来年度の予算に反映できるように配慮して時期を11月としている。	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	5	0	事業所評価については、結果を法人ホームページに掲載している。	保護者の意見や職員の意見を教室として検討して次年度の保育・運営に反映できるようにしていきたい。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	0	5		法人独自の第三者を交えた評価を行う。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	5	0	研修の機会があり、職員体制が整う場合は、研修等に積極的に参加している。	今年度新型コロナ感染予防のため研修が中止になる場合が多く、研修の機会が確保できているは言えないが、開催され次第参加していきたい。
	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画を作成しているか	5	0	計画担当者に任せただけでなく、職員が協議の上計画策定している。	

## 適切な支援の提供

11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	5	0	法人 桃郷のアセスメントツールを使用している。	
12	児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画には、子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	5	0	法人の方針として、2歳児は具体的な目標よりは、初めての集団活動を親子とも楽しめることを目標としている。	
13	児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われているか	5	0	毎回保育終了後、児一人ひとりの支援内容を検討し、次回保育に反映させている。	
14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	5	0	1か月の大まかな活動テーマは、職員会議で、日々のプログラムについては、毎回の保育終了後に当日の反省を踏まえ次回のプログラムを立案している。	今後は活動プログラムをよりよいものにするため、木の実教室の職員だけでなく、発達相談員・保健師など専門家からの指導も取り入れていきたい。
15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	5	0	療育の意義や自宅では経験できない活動など、考慮したプログラムになるように日々努力している。	活動をより幅広いものとするため、研修の機会を多く持っていきたい。
16	(放課後等デイサービスののみ) 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか				
17	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画を作成しているか	5	0		
18	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	5	0	保育が始まる前、当日のリーダーが司会をして、支援内容や役割分担について確認して、園児を迎えている。	朝のミーティングがより効率的で効果的にできる方法を追及していきたい。
19	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	5	0	保育終了後、1時間程度職員が保育の反省や課題を検討する時間を取っている。	
20	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	5	0	毎回保育日誌・個人の経過記録を記入しながら、保育支援の反省や課題を話し合っている。	
21	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	5	0	入園後6ヶ月ぐらいでモニタリングを行い、計画の見直しを行っている。	
22	(放課後等デイサービスののみ) ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っているか				

関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	23	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	5	0	木の実教室管理者や児童発達支援管理者など、児や保護者をよく知る保育士が参画している。	今後は、保育士の力量をつけ、他機関との連携を学ぶため、一般保育士にも参加してもらおう機会を作っていきたい。
	24	(児童発達支援のみ) 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	5	0	地域の保健師や子育て支援センターとは適宜情報を共有し連携しながら、園児保護者の支援を実施している。	
	25	(放課後等デイサービスののみ) 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか				
	26	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか				
	27	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか				
	28	(児童発達支援のみ) 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	3	2	移行支援の体験や見学については、保健師や保護者と日程調整など支援し、情報共有を行い適切な進路が選択できるように支援している。	園児が転園後スムーズに活動に適應できるように、情報を提供し連携をより図っていきたい。
	29	(児童発達支援のみ) 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	2	3	転園支援などでは、保護者に付き添いながら体験や見学をし、一緒に進路を考えていくことを方針にしている。	
	30	(放課後等デイサービスののみ) 就学前に利用していた保育所や認定こども園、幼稚園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか				
	31	(放課後等デイサービスののみ) 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか				
	32	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	3	2	同じ法人内に児童発達支援センター・事業を持っているので、保育技術や発達相談員による学習会など助言研修を受ける機会がある。	職員体制を整えて、一人でも多くの職員が研修にいけるようにしていきたい。

	33	児童発達支援の場合は、保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合は、放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会があるか	0	5	保育所やこども園との交流は大切と考えているが、親子教室でもあり、交流方法など困難が考えられ、実施できていない。	交流の意義は感じているので、その方法について職員と検討していきたい。
	34	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	0	5	自立支援協議会への直接の参加はできていないが、自立支援協議会での決定事項等については、伝達を受けている。	自立支援協議会に直接参加できなくても、アンケートなどに積極的に答え、意見を伝えていきたい。
	35	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	5	0	個人懇談等ではないが、適宜発達や育児に関する話し合いができる機会を持っている。	
	36	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	5	0	社会福祉法人桃郷の家族支援プログラムとして、保護者交流会や(先輩保護者の話)、発達相談員による学習会などを適宜開催している。	
保護者への説明責任等	37	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	5	0	運営規定や利用負担については、入園以前の体験や見学の時と入園契約時に2回説明している。	
	38	児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画の同意を得ているか	4	1	必ず面談して署名・押印をいただき、同意を得ている。	
	39	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5	0	児の発達の課題などを相談する機会は発達相談員を交えて年1回実施している。	
	40	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	4	1	保護者会活動はないが、保護者交流会などで保護者同士の連携を図っている。	次年度は保護者交流会だけではなく、日頃の保育の中で、保護者同士が仲良くなり、悩みなどを相談できる関係になるように保育士が意識して対応していきたい。
	41	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5	0	登園時、降園後保護者からの相談があれば対応できる体制は整えている。	
	42	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	5	0	おたよりは月1回、必要な情報や連絡などは適宜発行している。	
	43	個人情報の取扱いに十分注意しているか	5	0	個人情報については持ち出し禁止・保管方法には気を付けている。	法人としての個人情報の方針を策定する予定であるので、決定後職員に周知徹底していきたい。

	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	5	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	3	2		コロナ禍において感染予防の観点から地域住民を招待するなどは実施できなかったが、コロナの感染が治まり次第、再開したい。
非常時等の対応	46	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	3	2		マニュアルは作成していたが、個々に説明はしていなかったため、入園時マニュアルも保護者に配布していくようにする。
	47	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	3	2		親子保育でもあり、非常時には適切に対応できるとの判断から訓練を実施してこなかったが、来年度は活動の中に、取り入れていきたい。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	4	1	入園前に、保健師や保護者から聞き取りを丁寧に行っている。	現在通園している園児には可能性が低いですが、てんかん発作が起こった場合の対応手順、職員の役割分担などマニュアル化しておく必要があるため、作成していきたい。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示所に基づく対応がされているか	5	0	給食を提供していないが、活動でクッキングなどもあり、入園時保健師や保護者からアレルギーに関する情報を共有している。	
	50	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	3	2	事故まで至らない事例については、職員間で情報共有している。	ヒヤリハットの様式を作って、今後保育士の共有事項として残していきたい。
	51	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	5	0	年3回虐待チェックリストを行い、職員の虐待への意識を確認して、法人研修を受講している。	虐待研修の機会等はもうけているが、日々の保育の中で職員が虐待を意識した保育を心がけていきたい。
	52	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画に記載しているか	4	1	身体拘束を必要とする児は対象としていない。	

○ この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和3年2月10日

事業所名: 木の実教室 保護者等数(児童数) 13 回収数 13 割合100 %

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	6	7	0	0	工夫していただいていると思うが、参加人数が多い時には狭く感じる。園庭があればと思う。	民家を改装した園舎であるため、柱の位置など保育しづらい面もあり。適切な場所への移転も検討中である。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	10	1	0	2		事業は、法的には園児5人に1人の保育士の配置が決められているので、3人体制を組んで保育にあたっている。
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	7	3	1	2	床が滑りやすく、マットを並べてはどうか。段差が高いように思う。	安全が確保できるように、身体を動かすリズムなどでは滑らないように素足で行うなど配慮している。段差については踏み台を置くなどしています。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	8	3	1	1	子供用トイレが改装して作られているが、部屋から見える位置にあり専用の部屋ならいいのではと思う。	民家を改装しているため、子供用のトイレの位置が悪く、個室にはできなかったため、プライバシーには今後最大限配慮するようにします。
適切な 支援の 提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画が作成されているか	10	0	0	3		入園当初に1回計画を作成し、半年後にもう一度モニタリングを実施して、課題を検討し、再度計画を作成している。
	⑥	児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画には、子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	10	1	0	2		桃郷の方針で初めての集団活動でもあり、親子で楽しむ大切さを考えて、具体的な支援内容より幅広い目標としている。
	⑦	児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われているか	13	0	0	0		毎回の保育終了後、児一人ひとりの今日の様子を検討し、次の活動に反映させている。
	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	12	1	0	0	いろいろな活動プログラムが楽しめているのか、家ではあまりないテンションでいることが多い。	園内活動だけでなく、園外活動、音楽や人形劇など自宅では経験できないことも経験できるようにプログラムに工夫している。
	⑨	児童発達支援の場合は、保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合は、放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会があるか	0	0	9	4		親子一緒に参加の教室であるため、保育所やこども園との交流は困難と考えている。
	⑩	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	13	0	0	0		
	⑪	児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画を示しながら、支援内容の説明がなされたか	12	0	0	1		
	⑫	保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか	8	1	0	4	保護者交流会や学習会の時間にいろいろ助言してもらえてありがたかったです。	社会福祉法人 桃郷の家族支援プログラムとして、保護者交流会(先輩保護者の話を聞いて、保護者同士悩みを交流したりする。)・発達相談員等による保護者学習会など実施している。

保護者への説明等	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	13	0	0	0	木の実教室の方針として、できるだけ保護者の方と話す時間をつくって、子どもたちの様子を伝えるようにしている。	
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	12	0	0	1	児の発達の課題などを相談する機会は発達相談員を交えて年1回実施している。	
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	5	1	6	1	保護者会活動はないが、保護者交流会などで保護者同士の連携を図っている。	
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	11	0	0	2	登園時、降園後等、保護者から相談があれば対応できる体制を整えている。	
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	12	1	0	0	おたよりは月1回配布し、情報提供や連絡など必要時に適宜行っている。	
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	13	0	0	0	毎年業務に対する自己評価の結果は、法人ホームページに掲載している。	
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	12	0	0	1	個人情報については、持ち出し禁止・保管方法等気をつけているが、法人としても個人情報保護の方針を決定して取り組んでいく予定である。	
非常時の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	2	0	6	5	親子保育であり、災害発生時、迅速な行動が可能と判断して、対応マニュアルを作成していたが、配布するなどの配慮が出来ていなかった。来年度からは入園時にはすべての保護者に配布して説明していきたい。	
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	0	0	6	7	親子保育であり、災害発生時、迅速な行動が可能と判断して、訓練など計画していなかったが、保育活動の中や散歩中に避難所を確認するなど、訓練を取り入れていきたい。	
満足度	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	12	1	0	0	教室に行くときイヤイヤするときもあるが、教室につけば楽しんでいます。とても楽しみにしています。	出席率もよく、欠席の場合も保護者から理由の連絡があるなど、活動を楽しみに通所していると感じられ職員はうれしく思っています。
	㉓	事業所の支援に満足しているか	13	0	0	0	やさしい先生ばかりでとても満足しています。	保護者の方々も保育に協力的で、不安や悩みなど気軽に話してくれる関係ができており、保育や園運営がスムーズに出来ています。

○ この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援・放課後等デイサービス評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。